

第 118号

発行 令和4年1月27日

編集 佐倉河地区振興会

水沢佐倉河字西沖ノ目4-1

(電話・FAX 23-3361)

【ホームページ】

<http://userrrs.catv-mic.ne.jp/~200-01/>

広  
報

# 瑞 みずほ 穂



## 謹 賀 新 年



☆☆☆☆☆☆

本年もよろしくお願いたします

☆☆☆☆☆☆

見事な門松は、八幡緑豊会さんから飾っていただきました。大変ありがとうございました。



年頭のごあいさつ  
佐倉河地区センター長 千田 晴郎  
明けましておめでとございます。  
今年の三が日は、雪かきに追われた方も多かつたのではないのでしょうか。

昨年を振り返りますと、一昨年に続きコロナ禍の中での振興会事業となり、地区民大運動会、敬老会、佐倉河まつり、新年交賀会と大きなイベントが2年続けて中止となり大変残念でした。そのような中においても、協働のまちづくり事業や生涯学習・環境衛生事業等では、コロナウイルス感染防止対策に配慮し、慎重に判断していくつかの事業を、開催時期を変更して行うことができました。多くの方々のご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

また、老人クラブや館長協議会では、例年どおり地区センターの環境整備を行っていただき、良い環境の中で利用者の皆様にご利用いただきました。

佐倉河地区第4次コミュニティ計画は、地区の皆様からご協力いただいたアンケートを参考にしながら、向こう5年間の計画を策定しました。この計画を振興会事業計画に反映させ、コロナ禍の中で新しい形の事業を具体化し、地域活性化に向けた努力をしつつ、地区のまちづくりにかしたいと考えています。

一日も早くコロナが収束し、以前のような日常生活が送れる日が来ることを願い、佐倉河に住んで良かったと実感できる事業を展開していきたいと考えています。

皆様にとりまして、安心して暮らせる幸多い年でありますようお願い申し上げます、挨拶いたします。

# 佐倉河地区子ども会凧あげ大会デザイン審査



グットデザイン賞の一本木・十文字子ども会

1月9日佐倉河地区子ども会育成会連絡協議会主催の子ども会凧あげ大会は、小学校校庭の積雪が多かったため凧あげは実施できずデザインのみの審査となりました。

参加した10の子ども会は、感染対策を考慮して、例年は自作していた凧も既製品を使って実施し、防犯標語を書いたり、干支の絵などを書いたりして工夫を凝らした凧を持って発表しました。



みんなで、協力して作りました

審査の結果 グットデザイン賞  
一本木子ども会・十文字子ども会が  
受賞しました。

作品について武藤校長から「飛ぶ姿を想像して脚に防犯標語を書いたり、絵を描いたりしていろいろな工夫をしていた」と評価をいただきました。

子どもたちからは、「みんなで協力して楽しく絵が描けた。更に賞に選ばれてうれしい」「半透明にした部分もあるので飛ばしたらきれいだと思う。機会があったら凧をあげたい」等笑顔で話しました。

## 令和3年度防犯標語コンクール審査行われる



1月6日佐倉河地区センターで、今年度の防犯標語コンクールの審査がありました。応募数は141人、148作品。審査の結果下記のとおり最優秀賞1点、優秀賞2点が選ばれました。おめでとうございます。

なお、最優秀賞の標語は、地区センター入り口に看板として1年間設置されます。



### 最優秀賞

・絆と目 地域を守る 二刀流

那須 心咲さん 6年 (宮田子ども会)

### 優秀賞

・オレオレは知らない人のメッセージ

小野寺耕助くん 3年 (上幅子ども会)

・声かけあい 広がる安全 地域の輪

小野寺陽与くん 2年 (一本木子ども会)

# 「冬休みのサイエンス教室」開催

1月13日県立産業技術短期  
 大学校水沢校において佐倉河  
 地区振興会主催による「冬休  
 みのサイエンス教室」が開催  
 されました。この教室は、冬  
 休み期間中に「科学」に対す  
 る興味・関心を喚起し、楽し  
 く学ぶ機会を作る趣旨で実  
 施。

佐倉河小学校の4年生から  
 6年生7名が参加しました。



ヤッター!!電球がついた



けっこう力が入るよ～

会場となった産業技術大学  
 校の教員2名と、同大学の  
 生徒5名に指導いただき、マ  
 ンツーマンでわかりやすく工  
 業技術や科学の面白さを体感  
 できました。

参加した子どもたちはペン  
 チを使って針金を曲げたりし  
 て回路を組み立て、完成した  
 人から順に席を移動し、電源  
 を入れ電球に明かりがつく  
 と、「ヤッター」と笑顔を見せ  
 ました。参加者は、「思ったよ  
 り力が必要だけど楽しかった  
 」と満足そうに話していま  
 した。

## 地域福祉推進協議会佐倉河支部研修会



コロナ対策も万全です

地域福祉推進協議会佐倉河  
 支部は1月21日佐倉河地区セ  
 ンターで、役員・代議員29名  
 が出席して「これからのより  
 良い佐倉河地区に向けて」を  
 テーマに福祉研修を行いました。

はじめに、奥州市社会福祉  
 協議会の岩渕達也さんから現  
 在のコロナ禍が地域福祉活動  
 に及ぼしている影響について  
 の講話を聴講。その後、4グ  
 ループに分かれて子どもを含  
 む若い世代と高齢者等の要援  
 護者それぞれに対する地域福

祉活動で心配なことや実際に  
 行っている活動、理想とする  
 佐倉河地区の実現に向けて取  
 組んでいきたい活動など、40  
 分の制限時間を超えるほど活  
 発に意見交換がなされました。

グループごとの発表では、  
 除雪支援のあり方や高齢者の  
 交通事情、お互いを知るため  
 にも多世代で交流できる事業  
 の創出など共通課題も見えて  
 きて、課題解決のために改め  
 て人と人とのつながりの大切  
 さを再確認する時間となりました。



まとめましたので発表いたします

# 2月の行事予定

日(曜日)	行事内容
7日(月)	定例民生児童委員会協議会(地区センター) 13:00~
9日(水)	食育講座「チョコレートの話」(地区センター) 13:30~15:00
10日(木)	協働のまちづくり事業文化講演会「苗字あれこれ」(地区センター) 14:00~
18日(金)	定期利用団体調整会議(地区センター) 19:00~
19日(土)	多世代交流会「ボッチャ」(地区センター体育館) 10:00~12:00
22日(火)	振興会三役会議(地区センター) 14:00~
24日(木)	定例区長会(地区センター) 14:00~

## 令和4年度佐倉河地区センター定期利用団体の申し込み受付について

地区センターでは、令和4年度の定期施設利用の申し込み受付をします。昨年まで定期利用している団体には、申請に必要な書類をわたしますので、記入して2月8日(火)までに、地区センターに提出して下さい。

新規利用される団体についても、同日までに、地区センター(☎23-3361)へお問合せください。

## 寺子屋リーダーを募集します!



水沢の夏の風物詩「寺子屋」を応援してくれる、優しく元気なお兄さん・お姉さんを募集します。

- ・募集期間：1月18日(火)～2月16日(水)
- ・申込方法：募集チラシの申し込み欄を記入して学校の寺子屋ポストか地区センターへお願いします。

※3月20日(日)にリーダー研修会を予定しています。

## 佐倉河地区の世帯と人口(令和3年12月31日現在)

行政区	世帯数	男	女	合計	前月比
栃の木	94	145	153	298	0
上幅	104	133	135	268	△1
一本木	147	206	212	418	1
八幡	156	206	206	412	△2
谷地	160	205	215	420	1
佐野	109	127	161	288	△1
十文字	152	196	191	387	△3
松堂	484	555	581	1,136	△1
宮田	374	509	544	1,053	8
仙人	238	262	300	562	0
合計	2,053	2,544	2,698	5,242	2

## 編集後記

今年は無年。中国に伝わる兵法の秘伝書「六韜(りくとう)」の中の一つに虎の巻があります。通常職場にはマニュアルというものが存在しておりますが、虎の巻の方が実用性高い参考書のニュアンスがあるようです。多くの方々が経験した事項は今でも通じるものが多いと思います。今年は、旧暦も視野に入れてみませんか?今年の旧正月は2月1日となつていきます。調べてみますと直近では平成15年の年と同じです。でもこの年は冷夏でしたね。コロナ禍で先が読めない状況も続いています。備えあれば憂いなし。今年一年間の自分の目標を掲げやり遂げるよう頑張っていきたいと思います。(今野)